

貸借対照表
令和 4年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	49,371,477	48,125,995	1,245,482
未収金	886,609	436,030	450,579
貯蔵品	157,296	133,731	23,565
前払費用	0	21,384	△ 21,384
立替金	14,792	90,646	△ 75,854
流動資産合計	50,430,174	48,807,786	1,622,388
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金(基)	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	30,358,159	26,845,334	3,512,825
特定資産合計	30,358,159	26,845,334	3,512,825
(3)その他固定資産			
施設	3,030,365	4,495,543	△ 1,465,178
備品	4,174,554	5,412,377	△ 1,237,823
電話加入権	56,897	56,897	0
繰延費用	239,335	309,384	△ 70,049
ソフトウェア	149,400	257,400	△ 108,000
預託金	6,780	6,780	0
その他固定資産合計	7,657,331	10,538,381	△ 2,881,050
固定資産合計	48,015,490	47,383,715	631,775
資産合計	98,445,664	96,191,501	2,254,163
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,713,936	6,870,247	△ 1,156,311
未払法人税等	758,800	699,500	59,300
未払消費税等	4,080,900	3,815,700	265,200
預り金	6,501,510	5,303,544	1,197,966
流動負債合計	17,055,146	16,688,991	366,155
2. 固定負債			
退職給付引当金	29,058,159	26,045,334	3,012,825
役員退職慰労引当金	1,300,000	800,000	500,000
固定負債合計	30,358,159	26,845,334	3,512,825
負債合計	47,413,305	43,534,325	3,878,980
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	51,032,359	52,657,176	△ 1,624,817
正味財産合計	51,032,359	52,657,176	△ 1,624,817
負債及び正味財産合計	98,445,664	96,191,501	2,254,163

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日 から令和 4年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	200	1,002	△ 802
特定資産運用益			
特定資産受取利息	264	244	20
事業収益			
施設管理受託事業収益	201,344,000	186,366,730	14,977,270
野生鳥獣保護受託事業収益	770,000	770,000	0
自動販売機事業収益	4,000,027	3,516,983	483,044
事業収益計	206,114,027	190,653,713	15,460,314
受取寄付金			
受取寄付金	900,000	1,079,000	△ 179,000
雑収益			
受取利息	622	570	52
雑収益	755,240	368,923	386,317
雑収益計	755,862	369,493	386,369
経常収益計	207,770,353	192,103,452	15,666,901
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	5,611,496	5,800,735	△ 189,239
給料	54,846,329	50,426,880	4,419,449
諸手当	26,784,936	22,357,819	4,427,117
臨時雇賃金	2,632,324	3,254,926	△ 622,602
退職給付費用	3,849,795	2,638,500	1,211,295
役員退職慰労引当金繰入	340,000	340,000	0
福利厚生費	14,499,907	12,404,677	2,095,230
旅費交通費	134,809	154,550	△ 19,741
通信運搬費	809,950	801,929	8,021
減価償却費	2,057,377	2,439,416	△ 382,039
消耗品費	8,610,482	12,240,679	△ 3,630,197
修繕費	2,273,232	1,008,607	1,264,625
印刷製本費	412,000	44,110	367,890
燃料費	449,162	374,227	74,935
光熱水料費	9,858,990	8,485,822	1,373,168
賃借料	1,998,848	884,171	1,114,677
保険料	918,030	907,207	10,823
諸謝金	50,000	30,000	20,000
租税公課	11,610,595	10,647,060	963,535
支払負担金	383,400	286,000	97,400
委託費	20,911,673	19,111,796	1,799,877
広告料	756,520	5,020	751,500
手数料	88,314	304,422	△ 216,108
飼料費	14,098,379	13,743,776	354,603
使用料	1,019,192	900,443	118,749
貸倒償却	0	99,284	△ 99,284
雑費	132,849	54,043	78,806
事業費計	185,138,589	169,746,099	15,392,490

管理費			
役員報酬	3,074,604	2,913,415	161,189
給料	6,934,486	6,722,800	211,686
諸手当	2,890,033	2,697,380	192,653
臨時雇賃金	816,198	784,965	31,233
退職給付費用	1,301,430	639,750	661,680
役員退職慰労金繰入	160,000	160,000	0
福利厚生費	2,030,288	1,854,527	175,761
交際費	123,014	172,381	△ 49,367
通信運搬費	70,173	62,049	8,124
減価償却費	242,551	230,084	12,467
消耗品費	138,491	676,347	△ 537,856
修繕費	31,088	11,999	19,089
印刷製本費	53,130	39,420	13,710
燃料費	25,414	19,474	5,940
光熱水料費	304,637	246,674	57,963
賃借料	370,782	244,418	126,364
保険料	28,120	24,383	3,737
諸謝金	731,000	726,000	5,000
租税公課	1,652,435	1,354,490	297,945
支払負担金	192,500	184,500	8,000
広告料	629,650	49,917	579,733
委託費	430,533	337,635	92,898
手数料	195,602	179,455	16,147
使用料	342,773	279,084	63,689
雑費	4,727	10,157	△ 5,430
管理費計	22,773,659	20,621,304	2,152,355
経常費用計	207,912,248	190,367,403	17,544,845
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 141,895	1,736,049	△ 1,877,944
当期経常増減額	△ 141,895	1,736,049	△ 1,877,944
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
その他の経常外費用			
固定資産除却損	724,122	555,495	168,627
経常外費用計	724,122	555,495	168,627
当期経常外増減額	△ 724,122	△ 555,495	△ 168,627
税引前当期一般正味財産増減額	△ 866,017	1,180,554	△ 2,046,571
法人税、住民税及び事業税	758,800	699,500	59,300
当期一般正味財産増減額	△ 1,624,817	481,054	△ 2,105,871
一般正味財産期首残高	52,657,176	52,176,122	481,054
一般正味財産期末残高	51,032,359	52,657,176	△ 1,624,817
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	51,032,359	52,657,176	△ 1,624,817

財 産 目 録
令和4年 3月 31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金 普通預金 未収金 貯蔵品 立替金	手元保管 山口銀行宇部支店	運転資金 運転資金 収益事業、管理業務の未収金 管理業務で使用している切手 公益目的事業、収益事業等の立替金	4,198,587 45,172,890 886,609 157,296 14,792
流動資産合計				50,430,174
(固定資産)	基本財産	山口銀行宇部支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	10,000,000
	特定資産	山口銀行宇部支店	職員退職給付引当金及び役員退職慰労引当金の引当資産として積み立てている。	30,358,159
	その他固定資産	動物舎他 車両7台、什器他	公益目的事業及び管理業務で使用している。 公益目的事業、収益事業等及び管理業務で使用している。	3,030,365 4,174,554
			(共用財産) 公益目的保有財産として56.6%を使用している。 収益事業等として19.9%を使用している。 管理業務として23.5%を使用している。	56,897
	繰延費用 ソフトウェア 預託金	リサイクル預託金	公益目的事業で使用している。 公益目的事業で使用している。 公益目的事業で使用している。	239,335 149,400 6,780
固定資産合計				48,015,490
資産合計				98,445,664
(流動負債)	未払金 未払法人税等 未払消費税等 預り金	宇部市他 職員他	各会計区分における費用の未払金 入園料、駐車場利用料金の預り金 源泉所得税、市県民税、社会保険料他	5,713,936 758,800 4,080,900 5,156,040 1,345,470
流動負債合計				17,055,146
(固定負債)	退職給付引当金	職員	公益目的事業、収益事業等及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付引当金である。	29,058,159
	役員退職慰労引当金	役員	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する役員の役員退職慰労引当金である。	1,300,000
固定負債合計				30,358,159
負債合計				47,413,305
正味財産				51,032,359

正味財産増減計算書内訳表
令和 3年 4月 1日 から令和 4年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会 計	収益事業等会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	200	0	0	200
特定資産運用益				
特定資産受取利息	213	13	38	264
事業収益				
施設管理受託事業収益	162,832,000	16,715,000	21,797,000	201,344,000
野生鳥獣保護受託事業収益	770,000	0	0	770,000
自動販売機事業収益	0	4,000,027	0	4,000,027
事業収益計	163,602,000	20,715,027	21,797,000	206,114,027
受取寄付金				
受取寄付金	900,000	0	0	900,000
雑収益				
受取利息	516	106	0	622
雑収益	428,550	216,322	110,368	755,240
雑収益計	429,066	216,428	110,368	755,862
経常収益計	164,931,479	20,931,468	21,907,406	207,770,353
(2) 経常費用				
事業費				
役員報酬	5,611,496	0	0	5,611,496
給料	53,061,409	1,784,920	0	54,846,329
諸手当	25,799,130	985,806	0	26,784,936
臨時雇賃金	2,345,396	286,928	0	2,632,324
退職給付費用	3,373,755	476,040	0	3,849,795
役員退職慰労引当金繰入	340,000	0	0	340,000
福利厚生費	14,063,424	436,483	0	14,499,907
旅費交通費	134,809	0	0	134,809
通信運搬費	405,303	404,647	0	809,950
減価償却費	2,057,377	0	0	2,057,377
消耗品費	7,086,990	1,523,492	0	8,610,482
修繕費	1,914,591	358,641	0	2,273,232
印刷製本費	412,000	0	0	412,000
燃料費	445,532	3,630	0	449,162
光熱水料費	9,554,353	304,637	0	9,858,990
賃借料	1,964,737	34,111	0	1,998,848
保険料	703,543	214,487	0	918,030
諸謝金	50,000	0	0	50,000
租税公課	10,312,992	1,297,603	0	11,610,595
支払負担金	383,400	0	0	383,400
委託費	11,542,113	9,369,560	0	20,911,673
広告料	756,520	0	0	756,520
手数料	80,196	8,118	0	88,314
飼料費	14,098,379	0	0	14,098,379
使用料	809,595	209,597	0	1,019,192
雑費	105,274	27,575	0	132,849
事業費計	167,412,314	17,726,275	0	185,138,589

管理費				
役員報酬	0	0	3,074,604	3,074,604
給料	0	0	6,934,486	6,934,486
諸手当	0	0	2,890,033	2,890,033
臨時雇賃金	0	0	816,198	816,198
退職給付費用	0	0	1,301,430	1,301,430
役員退職慰労金繰入	0	0	160,000	160,000
福利厚生費	0	0	2,030,288	2,030,288
交際費	0	0	123,014	123,014
通信運搬費	0	0	70,173	70,173
減価償却費	0	0	242,551	242,551
消耗品費	0	0	138,491	138,491
修繕費	0	0	31,088	31,088
印刷製本費	0	0	53,130	53,130
燃料費	0	0	25,414	25,414
光熱水料費	0	0	304,637	304,637
賃借料	0	0	370,782	370,782
保険料	0	0	28,120	28,120
諸謝金	0	0	731,000	731,000
租税公課	0	0	1,652,435	1,652,435
支払負担金	0	0	192,500	192,500
広告料	0	0	629,650	629,650
委託費	0	0	430,533	430,533
手数料	0	0	195,602	195,602
使用料	0	0	342,773	342,773
雑費	0	0	4,727	4,727
管理費計	0	0	22,773,659	22,773,659
経常費用計	167,412,314	17,726,275	22,773,659	207,912,248
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,480,835	3,205,193	△ 866,253	△ 141,895
当期経常増減額	△ 2,480,835	3,205,193	△ 866,253	△ 141,895
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
その他の経常外費用				
固定資産除却損	724,121	0	1	724,122
経常外費用計	724,121	0	1	724,122
当期経常外増減額	△ 724,121	0	△ 1	△ 724,122
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 3,204,956	3,205,193	△ 866,254	△ 866,017
他会計振替額	512,354	△ 512,354	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,692,602	2,692,839	△ 866,254	△ 866,017
法人税、住民税及び事業税	0	758,800	0	758,800
当期一般正味財産増減額	△ 2,692,602	1,934,039	△ 866,254	△ 1,624,817
一般正味財産期首残高	8,292,633	41,125,073	3,239,470	52,657,176
一般正味財産期末残高	5,600,031	43,059,112	2,373,216	51,032,359
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	5,600,031	43,059,112	2,373,216	51,032,359

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 施設・備品

平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

② 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金支給基準に基づく期末要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	26,845,334	5,651,225	2,138,400	30,358,159
小 計	26,845,334	5,651,225	2,138,400	30,358,159
合 計	36,845,334	5,651,225	2,138,400	40,358,159

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	10,000,000	—
小計	10,000,000	0	10,000,000	—

特定資産				
退職給付引当資産	30,358,159	0	0	30,358,159
小計	30,358,159	0	0	30,358,159
合計	40,358,159	0	10,000,000	30,358,159

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
施設	13,394,100	10,363,735	3,030,365
備品	22,208,732	18,034,178	4,174,554
繰延費用	350,245	110,910	239,335
ソフトウェア	540,000	390,600	149,400
合計	36,493,077	28,899,423	7,593,654

8. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当なし。

9. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

10. 重要な後発事象

該当なし。

附 属 明 細 書

1. 重要な固定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
	基本財産計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産	退職給付引当資産	26,845,334	5,651,225	2,138,400	30,358,159
	特定資産計	26,845,334	5,651,225	2,138,400	30,358,159
その他固定資産	施設	4,495,543	0	1,465,178	3,030,365
	備品	5,412,377	143,000	1,380,823	4,174,554
	繰延費用	309,384	0	70,049	239,335
	ソフトウェア	257,400	0	108,000	149,400
	電話加入権	56,897	0	0	56,897
	預託金	6,780	0	0	6,780
	その他固定資産計	10,538,381	143,000	3,024,050	7,657,331

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	26,045,334	5,151,225	2,138,400	0	29,058,159
役員退職慰労引当金	800,000	500,000	0	0	1,300,000

監査報告書

公益財団法人 宇部市常盤動物園協会
会長 末次 宣正 殿

令和4年6月6日

公益財団法人 宇部市常盤動物園協会
監事 河口 雅邦



公益財団法人 宇部市常盤動物園協会
監事 古谷 栄識



私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。